

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 秋期定期点検のご報告

豊田PCB廃棄物処理施設では毎年5月と11月に定期点検を行なっています。これはPCB廃棄物の処理能力を維持するために非常に重要な点検です。

平成24年度秋期定期点検は11月5日(月)～23日(金)の約3週間をかけて実施しました。

●災害防止協議会の開催

定期点検開始に先立ち、作業を実施する業者が一堂に会して「災害防止協議会」を開催しました。

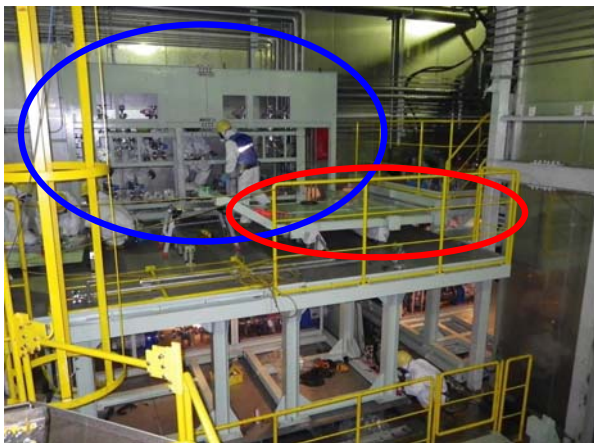
この協議会の目的は、定期点検期間中において事故や災害を発生させないことであり、基本的なルールや安全対策などについて確認しました。



●主な定期点検実施内容

秋期定期点検では、安全で安定的な操業の維持に重点を置いて、摩耗部分を中心として点検・整備を実施しました。また、これに併せて処理能力の向上に向けた設備改造・増強も実施しました。そのうち2つをご紹介します。

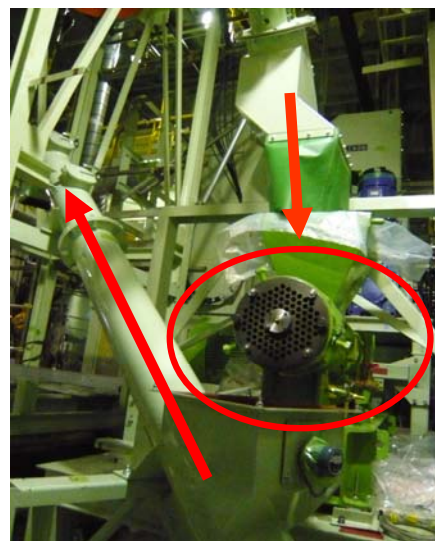
1、予備洗浄用ステージ(設置台)を2台増設
 時間がかかっていた車載トランス(新幹線等で使用)の予備洗浄の工程を促進するため、予備洗浄用ステージを2台増設しました。これで従来より予備洗浄ができる台数が増えました。



○: デッキ ○: 洗浄液の供給設備

2、植織機(しよくせんき)の設置

車載トランス内部に使用されている木の洗浄処理を促進するために木を細かく繊維状に砕くための装置を設置しました。



→: 木くずの流れ
 ○: スクリューで破碎

2. PCB廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会を開催しました

先月に引き続き、11月16日(金)に弊社本社(東京都港区)にて今年度3回目の豊田事業部会を開催しました。(主査:田中勝 鳥取環境大学サステナリビリティ研究所長)

今回の事業部会では事故等が発生した場合の情報開示の方法や、ベンゼン排出事故に対する改善計画書について検討いただきました。



3. 豊田市PCB処理安全監視委員会が開催されました

●監視委員会の目的

今年度2回目の「豊田市PCB処理安全監視委員会」が11月22日(木)、豊田市役所にて開催されました。(委員長:松田仁樹 名古屋大学大学院教授)

この委員会はPCB廃棄物処理事業における安全性、環境保全の確保のために豊田市により設置されたものです。



●監視委員会の内容

豊田事業所からは以下の内容を報告いたしました。

1. 7月のSD剤漏洩事故、9月のベンゼン排出事故について、原因と対策そして豊田市からのご指導の内容等
2. 10月末におけるPCB廃棄物の処理状況や4月及び7月に実施した環境調査結果
3. PCB廃棄物処理に関する法令等の改正を踏まえたJESCO全体の今後の方針

特に上記2件の事故については、作業者の単純な操作ミスに起因していることから、管理監督者の指導状況も含めてその原因の徹底究明を行うことなどのご指摘を受けました。

今回の委員会で頂いた意見を踏まえて、更なる対策を検討するとともに、JESCOと運転会社が一体となって同様な事故の再発防止と、地域の皆様に信頼していただけるよう安全・安定操業に努めてまいります。

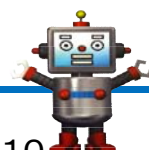


アザラシのピーちゃん

問い合わせ

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸